

Think
Sense
Study
Action

内田直之が、「考えたこと」「感じたこと」
「学んだこと」「行動したこと」
を皆様にお伝えする紙上ブログです。

ボランティア・学生インターンを募集しています!
政策に共感して頂けるボランティア・学生インターンを
募集しています。ご都合の良いお時間だけで結構です。
メールやお電話で、お気軽にお問い合わせ下さい!

uchida
naoyuki
.com



内田直之が考えたこと



4年間の任期を 振り返って

『4つの重点政策』は実現できたか?

平成31年第1回区議会定例会が3月13日迄の日程で開催されています。そして25名の議員はこの定例会を持って4年間の任期を終える事となります。私の任期における本議会での質問は、一般質問/代表質問で10回、45項目に及びました。基本的には「4つの重点政策」を中心に、建築や環境、まちづくりなどの専門分野にて「課題の指摘」と「具体的な提案」を行って参りました。

①子ども達の教育環境の充実

- 政策1. 待機児童「0」を目指した保育園・学童クラブの充実
- 政策2. 自ら考え、判断、決定、行動する力を育む教育の推進

②高齢者や障がい者にも優しい街

- 政策1. 保健所跡地を活用した高齢者・障がい者施設の整備
- 政策2. ひとり暮らし高齢者の見守り支援

③あらゆる世代に貢献できるスポーツの推進

- 政策1. 外濠公園グラウンドの人工芝化・多目的化
- 政策2. 新たな区立スポーツセンターの整備

④災害に強く安心で安全な街

- 政策1. 耐震診断・耐震改修の100%実現
- 政策2. マンション防災対策の推進・支援

委員会での活動や日頃の折衝も含め、幾つかの政策について実現することが出来ました。例えば、ヒートアイランド対策としてのドライミストの設置では、平成30年度には神田児童公園など8カ所に設置され好評を得ています。外濠公園グラウンドの人工芝化・多目的化では、整備に向けた関係機関との調整と事

前調査に着手出来ました。地域防災訓練への「HUG訓練」の提案では、平成29年度から実施されています。また、民泊に対する区独自の上乗せ規制に対しては、国内でも最も厳しい条例が平成30年3月に制定されました。更に、無料wifiの区内への設置や九段小学校校庭の人工芝化、その他にも、限界マンションへの警鐘によるマンション管理の適正化の検討も推進できたと思っています。

行政を動かすのは難しい?

一方、成果や進展、理解を得られなかった提案も少なくはありませんでした。例えば、地域交通ネットワークにおける区の方針を問いましたが、交通政策を検討する担当部署が廃止になるなど、福祉バスの「風ぐるま」のコミュニティバス化への提案は、理解を得ることが出来ませんでした。また、ふるさと納税による損失と現実的な対応への提案でも、制度の問題については共感されましたが、こちらも具体的な対策への理解を得ることは出来ませんでした。行政としても、提案趣旨は理解できて事業化するには総合的な検証が必要であることも理解できます。今後ともしっかりと論拠に基づき具体的な提案を継続し、政策が実施できるよう努力したいと思っています。

『5つの議会改革』への取り組み

富山市議会での政務活動費の不正問題や、北九州市議の海外視察中での飲酒問題など、地方議員の不祥事が後を絶たしません。議員個人の問題に留まらず、地方議会のあり方まで問われる事態となっています。地方自治体は区長と議員をそれぞれ住民が直接選挙で選ぶ二元代表制です。議会が立法機関、区長

が執行機関と地方自治法に明確に位置付けられています。しかし実態は、議案の殆どが執行機関から提案されており、議会は立法機関として機能していないのが実情です。執行機関の追認に甘んじているとの指摘も謙虚に受け止めなくてはなりません。

地方分権の時代を迎え、これからの区議会議員には、高度な知識と見識、政策立案能力や問題解決能力が求められています。そして、その政策は総花的ではなく専門的な具体策が必要です。各議員が得意とする分野でプロフェッショナル化する事で、より活発で専門的な議論ができると思います。

議会改革度調査2017年(早稲田大学)において千代田区は23区中3位でしたが、改革すべき点は数多くあります。

私はまず初めに、①委員会のネット中継、②委員会の質問持ち時間制の導入、③政務活動費の公開・後払い制、④議場・委員会室へのPC持込み、⑤議員間の議論の活性化など5点を提案致します。これらの改革は議会運営委員会できれければ直ぐにでも実現可能です。また、将来的には、議会事務局体制の強化、議員定数の削減、定年制や期数の制限なども検討すべきと考えています。

20代の頃に出会った「実践なき理論は空虚なり、理論なき実践は無謀なり」というドラッカーの言葉を実践し、民間企業25年間の経験と建築士としての知識、大学院で学んだ公共政策論と現場主義を持って、「4つの重点政策の実現」と「5つの議会改革」に取り組んで参りたいと思います。

TOPICS

決算特別委員長を務めました!

千代田区の決算議案を審査する重要な委員会の委員長を、初めて務めさせて頂きました。決算特別委員会は議員全員で構成され、予算の執行が適切かつ効率的に行われ、十分な成果が挙げられているかを主眼に審査を行います。決算の結果は次年度の予算に活かされるため、決算と予算の連動性を意識した審査が重要となります。

区長や副区長、全ての理事者も出席される大きな委員会であり議事整理も大変でしたが、各会派の協力もあり、なんとか委員長としての責務を果たすことができました。大変貴重な経験を積ませて頂きました。



内田直之が行動したこと



福島第一原子力発電所を視察しました!

地震、津波、原発事故と多重に被災された福島県を毎年訪れています。今回は初めて福島第一原子力発電所を視察しました。ご承知の通り2011年3月11日の東日本大震災により、炉心溶解(メルトダウン)や建屋爆発など、放射性物質の放出を引き起こした原子力発電所です。放射能を測る線量計を装備し、少し不安な気持ちで視察内に入りました。放射能を測る線量計を装備し、少し不安な気持ちで構内に入りました。やっとながれきの撤去が終わり、これから使用済燃料の取り出しなど、本格的な廃炉作業に入るといった状況でした。廃炉には30年~40年かかる見込みだそうです。

(詳細は3月のタウンミーティングで報告致します)

内田直之が学んだこと



J-VILLAGEを視察しました!

J-VILLAGEは1997年福島県双葉郡に開設され、日本サッカーの発展を支えてきたナショナルトレーニングセンターです。福島第一原子力発電所事故に伴い全面閉鎖され、国が管理する原発事故の対応拠点となりました。スタジアムを含め天然芝8面、人工芝2面、全天候型1面、雨天練習場、ジム、プール、宿泊施設なども備えています。

私も現役の頃は、何度もこの施設でサッカーをやらせて頂きました。大変思い出深い施設が、復興事業の拠点としての役割を終え、再び日本サッカーの強化拠点として再開されることを本当に嬉しく思います。是非千代田区の大会も、この素晴らしい天然芝のグラウンドで大会を開催したいと思いました。

Sense 世界の街歩き

ポルト(ポルトガル共和国)

人口 23.8万人
面積 41.3km²
立憲共和制

イベリア半島南西部に位置するポルトガルは欧州最西端の国です。日本との結びつきも古く、1543年、ポルトガル人を乗せた中国船が種子島に漂着し鉄砲が伝わり、6年後には、宣教師のフランシスコ・ザビエルが鹿児島に上陸し、

日本にキリスト教を伝えたことは有名です。大西洋の海の幸に恵まれ、日本人と同じくイワシやタコを好む食文化にも親しみを感じます。そして、リスボンに次ぐポルトガル第二の都市がポルトです。創設は5世紀にさかのぼり、ローマ時代の港町に起源を持っています。この街から出荷されるポートワインは有名ですよ。

世界遺産「ポルト歴史地区」は、ドロウ川の両岸に建つ色鮮やかな建築群や、2万枚もの青い装飾タイルで歴史が描かれ

た世界で最も美しい駅といわれる「サン・ベント駅」、1886年に完成した高さ45mの二重構造の「ドン・ルイス1世橋」など見所満載です。坂が多いですが、充分歩いて回れる広さです。

今でも日常的に使われる、パン、カボチャ、テンブラ、タバコ、ボタン、カッパなど、日本語になったポルトガル語は少なくありません。人は優しく、治安も良く、物価も安く、何より食べ物が美味しいポルトは、お勧めの街のひとつとなりました。



1. 首都高速高架橋の撤去

【問題の背景】 中央区にある「日本橋」の上空を走る首都高速道路の地下化の概要が決定しました。江戸橋JCTから1.2kmを地下トンネルとし、2020年の東京オリパラ後に着手すると報道されています。「首都高日本橋地下化検討会」の資料によりますと、概算事業費は約3,200億円、完成は10~20年後との事です。

私は、これまで幾度となく、都心環状線と環状3号線内側の首都高速高架橋を廃止し、合わせて水辺を再構築することを訴えて参りました。勿論、広域な交通政策の中で議論すべきであり、千代田区だけで解決できる問題ではないことは承知しています。ただ、千代田区としても、まちづくりを考える中で、「しっかりと意思表示をすべきである」と再三指摘させて頂きました。

【質問】

千代田区として「首都高日本橋地下化の事業概要」をどのように認識し、どのような意思表示をしていくのか?お答え下さい。

【区(執行機関)の答弁】

「首都高日本橋地下化検討会」では、再開発事業の進捗や既存構造物の存在、コスト削減の取り組みを踏まえ、八重洲トンネル線を最大限活用するとともに、日本橋周辺の再開発事業と連携する事として、対象区間と地下ルート案が示された。現在、東京都において都市計画変更に向けた都市計画手続きを進めているところである。

水辺の再構築に向け、こうした機会に日本橋川川環境整備が行われる事で、東京、また千代田区にとっても貴重な水辺資源を活かしていく事になり、水辺の魅力を向上させていくことで、都市景観や都市環境の改善のみならず、生物多様性や観光推進にも寄与すると認識している。一方で、日本橋川上空の首都高高架をすべて撤去することについては、議員ご指摘通り、広域な交通政策の中で議論すべきであり、千代田区だけで解決できる問題ではないと考えている。

2. 電線類の地中化

【問題の背景】 電線類の地中化は、防災時の円滑な救助活動にも資する安全な歩行空間の確保や景観の向上など、さまざまな効果があります。ロンドンではすでに1800年代に電線類の地中化の方針を固め、欧州主要都市では100%、その他の先進国都市でも80%前後の地中化を達成しています。一方、千代田区の地中化率は44%で、東京23区の8%と比べると進んでおり、区内の国道、都道はほぼ100%完了しています。

今後は、千代田区道路延長の78%を占める区道での整備が求められています。その中で幅11m以上の区道約49kmでの地中化率は、現在約69%まで進んできました。今後は幅8mの道路での整備も期待されます。むしろ、幅員が狭く、自動車、自転車、歩行者が混在する8m道路こそ、電線類の地中化が必要とも思います。

【質問】

電線類の地中化におきましては、これまでの計画的で着実な整備は評価しています。今後は8m道路での事業化も検討すべきと考えます。見解をお聞かせ下さい。

【区(執行機関)の答弁】

現在作成中の道路整備方針においても、幅11m以上の道路については勿論、11m未満の道路についても、整備手法の検証を行うつつ主要道路と併せた面的な整備も検討して行く。

また、地上器のコンパクト化や管路の浅層化などの技術革新及び、地上機器の設置個所の工夫などを国、都、電線管理者等と共に研究して行くとともに、再開発事業などの面的整備との連携や、広幅員道路整備とも合わせた区道における電線類の地中化整備に鋭意取り組む。

3. 実効性の高い路上障害物対策

【問題の背景】 路上喫煙対策が一定の成果を上げている一方、路上障害物の対策では期待された成果は得られていない。また、地域の経営としてのエリアマネジメントの中に、生活環境改善の取り組みを位置付けるべきであり「道路協力団体制度」の活用についても検討すべきであると指摘させて頂きました。その際執行機関からは、「撤去を前提とした取り組みの検討」や「エリアマネジメントでの位置付けの早急な検討」など、前向きな答弁を頂きました。

しかしながら数年たっても、区内における路上障害物は一向に改善されていません。執行機関の前向きな努力が成果として表れていないのであれば、更なる対策が必要です。

【質問】

悪質な路上障害物や、防災上または青少年の健全育成上、問題と思われる看板を撤去できるような施策の再構築が必要です。エリアマネジメントにおける路上障害物対策の連携、環境美化・浄化推進団体の役割の強化を提案致します。

【区(執行機関)の答弁】

昨年4月の組織改正で、環境まちづくり部に「観察」の係を復活させた。生活環境条例を所管する地域振興部と連携し、路上障害物対策を推進していく。また、来年度は「観察パトロール」の予算を計上し、道路や公園における屋台や立て看板の放置や営業行為の未然防止、注意・指導を行う道路パトロールを更に強化する。

エリアマネジメントとの連携、環境美化・浄化推進団体の役割強化については、道路法上の「道路協力団体」に位置付け、モデル団体を指定して検証していく。

4. マンション管理の適正化推進条例

【問題の背景】 マンション管理におきましては、区分所有者間の合意形成の難しさや管理への意識の低さ、管理費や修繕積立金の不足、大規模修繕工事の未実施を経て、いずれ管理不全に陥ることが課題として挙げられています。この様な問題解決の為に、特別区の中でも、豊島区、墨田区、板橋区の3区では、「既存マンションの管理に関する条例」が制定されています。また、東京都でも「マンションの適正な管理の促進に関する条例」が議案として提出されました。

千代田区でも「マンション管理の適正化推進条例」の制定に向けた検討が進められていることは承知しています。区民の9割の方がマンション等の集合住宅にお住まいである地域特性を考慮

千代田コラム

パレスサイドビル

千代田区一ツ橋に位置する1966年竣工の大規模複合建築の傑作です。建物は地上9階、地下6階建てで、お濠に沿ってずらして配置された全長200mの本棟に、50mの白い2本の円筒状のコアが特徴的なデザインは今でも色あせてはいません。モダニズム(近代主義)建築20選に選定されるなど、数多くの賞を受賞しています。アルミダイキャストによる水平ルーバーと垂直の雨樋により協調された、横と縦のラインが本当に美しいです。また、1階と地下コンコースを結ぶ吹き抜け空間にある「夢の階段」は、宙に浮いたようなステンレスとアルミ鋳物で構成される階段は50年経っても近未来的に見える素敵な階段です。

千代田区に残るモダニズム建築の傑作であるパレスサイドビルは、これからは皇居の緑やお濠と共に、いつまでも残して欲しいと思います。



すると、マンション管理に関する早急な実態調査と適切な対応策の立案が必要です。

【質問】

「千代田区マンション管理の適正化推進条例」に向けた実態調査の進捗と、今後の検討スケジュールは?また、既存の助成制度の再整理や支援メニューの一層の充実も必要と考えます。

【区(執行機関)の答弁】

「マンション管理の適正化推進条例」では、①事前協議制度、②管理状況届出制度、③再生検討状況の報告制度の3点のマンション管理の適正化を図る仕組みを設け、区は各マンションに必要な指導や支援策を実施する。現在、都条例の規定内容を精査し、区条例との運用上の整合性について確認している。条例の提案にあたっては、区内マンションの管理組合をはじめとする関係者の意見を聞き、丁寧に進めていく。

5. 指定校変更の基準見直し

【問題の背景】 千代田区教育委員会では、学校教育法の規定により、就学予定者が就学すべき小学校が指定されています。そして、特別な事情により指定小学校の変更をご希望される場合のガイドラインも示されています。転居予定の承認理由は「住宅の購入、改築等により、概ね1年以内に転居することが確実であるため、児童又は生徒が転居予定地の通学区域の学校を希望する場合」とされています。規模にもよりますがマンション建替えに必要な工期は、解体から完成まで概ね2~3年であり、現行基準では、児童は望まない転校を余儀なくされてしまいます。居住地変更に伴う転校は児童にとって、親しい友人との別れや新しい学校や学力への不安など、様々なストレスを与えます。

千代田区ではすでに建替え時期を迎えているマンションは206棟にも及びます。現在の指定校変更の基準では「概ね1年以内に転居することが確実」となっていますが、この概ね1年は戸建て住宅の建替えを想定したと思われる。千代田区は区民の9割の方がマンション等の集合住宅の居住者であり、基準が地域特性に合致していない事は明らかです。

【質問】

千代田区の多くのマンションが建替えの時期となり、一時的に転居される方々も増える事が予想されます。千代田区の地域特性を考慮し、児童の望まない転校を避けるため、指定校変更における転居予定の基準を「概ね1年以内」から「概ね3年以内」へ変更することを提案致します。

【区(執行機関)の答弁】

これまで、マンション建替えによる学齢児の転居事例はあまりなかったが、区内のマンションには築年数がかなり経過しているものもあり、今後建替えが増える事も予想される。そこで、仮転居の期間が概ね小学校の在籍期間の1/2、すなわち議員ご指摘のように、概ね3年以内の場合には、現住所の小学校への通学を認めるよう指定校変更の審査基準の見直しを検討して行く。



街づくりへ、プロの視点。

内田直之(うちだ なおゆき)

1964年、熊本市生まれ B型。
1984年国立有明専ら建築学科を卒業後、トステム株式会社(現LIXIL)入社。総合企画室主任、海外赴任を経て商品企画室長となり、主力商品の経営戦略・商品戦略、多くの開発プロジェクトに携わる。働きながら明治大学公共政策大学院を修了。2011年より千代田区議会議員。一級建築士。

●学歴

国立有明専ら建築学科 卒業
明治大学公共政策大学院 修了

●職歴

トステム株式会社(現LIXIL) 25年間勤務

●所属団体

千代田区サッカー協会 会長
千代田区ラグビーフットボール協会 副会長
千代田区軟式野球連盟 顧問
千代田区相撲連盟 顧問
明治大学 校友会千代田区地域支部 副支部長
明治大学 都市施策・危機管理研究所 客員研究員
社会保険労務士会 千代田統括支部 顧問
公益財団法人 京葉鈴木記念財団 顧問
社団法人 東京建築士会
NPO法人 電線のない街づくり支援ネットワーク

●内田直之事務所

〒101-0041千代田区神田須田町1-30-1-103
Tel/Fax 03-3252-8832
Web www.uchidanaoyuki.com
e-mail uchida@tcn-catv.ne.jp

活動フォトギャラリー



▼第4回定例会議



▼日枝神社節分祭



▲内田直之 叙勲祝賀会